

# ポストコロナの世界と日本 ーレジリエントで持続可能な社会に向けてー

---

2020年8月3日

**MRI** 株式会社三菱総合研究所

政策・経済研究センター長 チーフエコノミスト

**武田 洋子**

# 主な内容

---

1. ポストコロナの潮流と目指すべき社会像
2. ポストコロナの国際情勢
3. ポストコロナの産業・企業
4. ポストコロナの社会・個人

# 1. ポストコロナの潮流と目指すべき社会像

# コロナ危機がもたらす3つの潮流



## 新型コロナウイルスが世界の脅威に

人命の優先

社会的距離の確保

医療崩壊の危機

国際機関の機能不全

潮流の加速

新たな潮流

潮流の再認識

持続可能性の優先順位の上昇

集中から分散・多極化へ

デジタルの加速とリアルとの融合

# MRIが考えるポストコロナ時代に目指す社会像

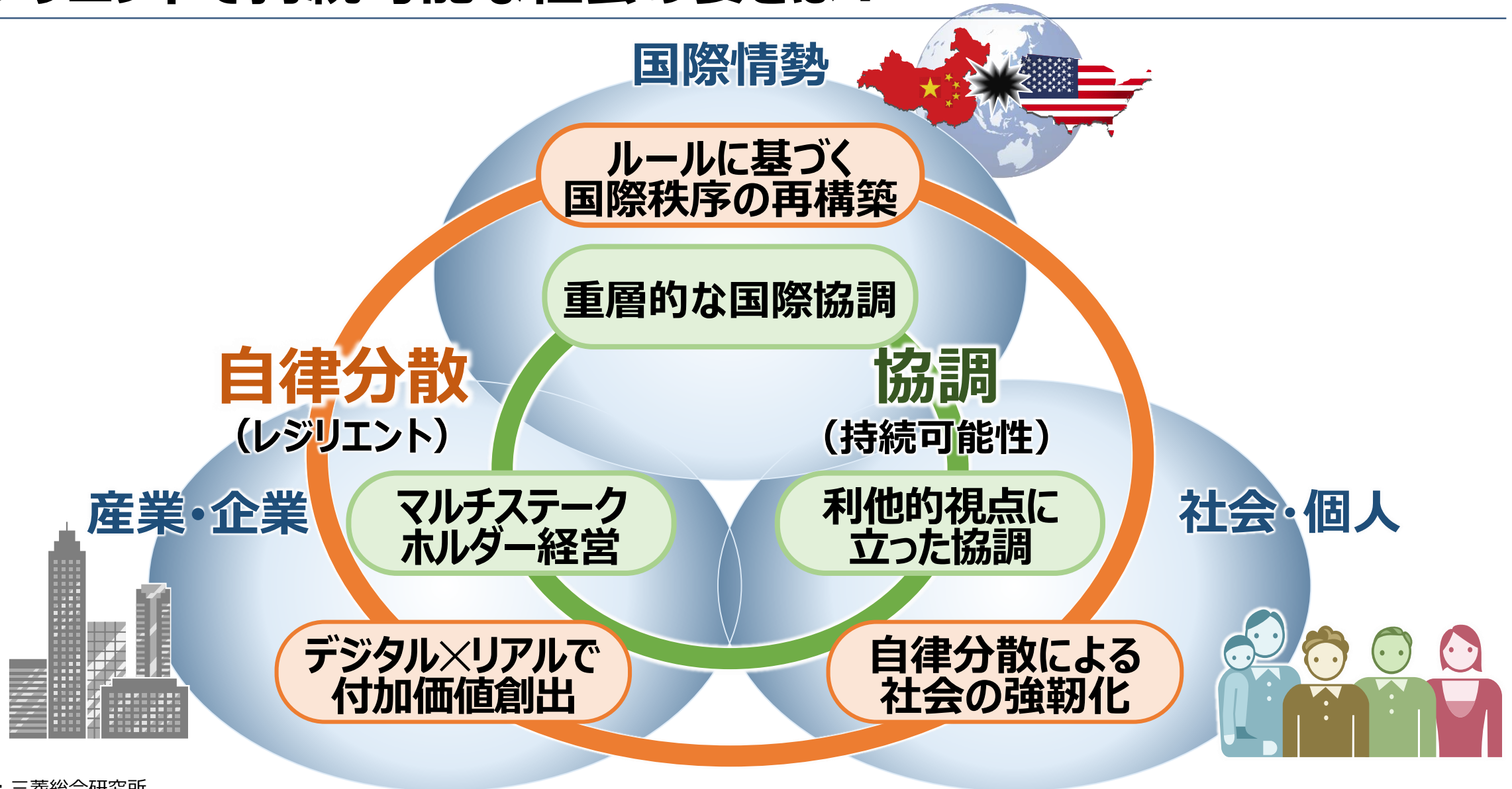
---

ポストコロナ時代にどのような社会を目指すか？



レジリエントで持続可能な社会

# レジリエントで持続可能な社会の姿とは？



---

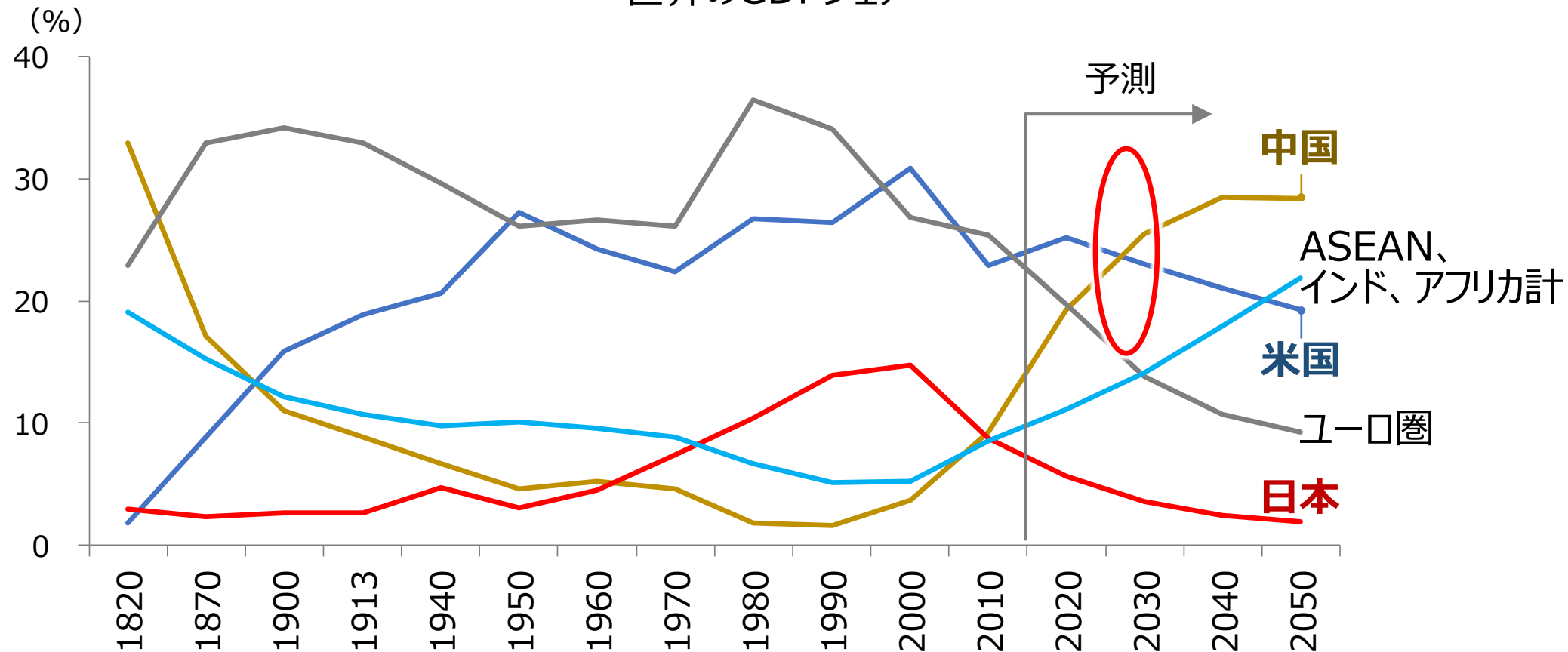
## 2. ポストコロナの国際情勢

---

# 求められる重層的な国際協調

## 米国と中国の経済力が一段と拮抗

世界のGDPシェア



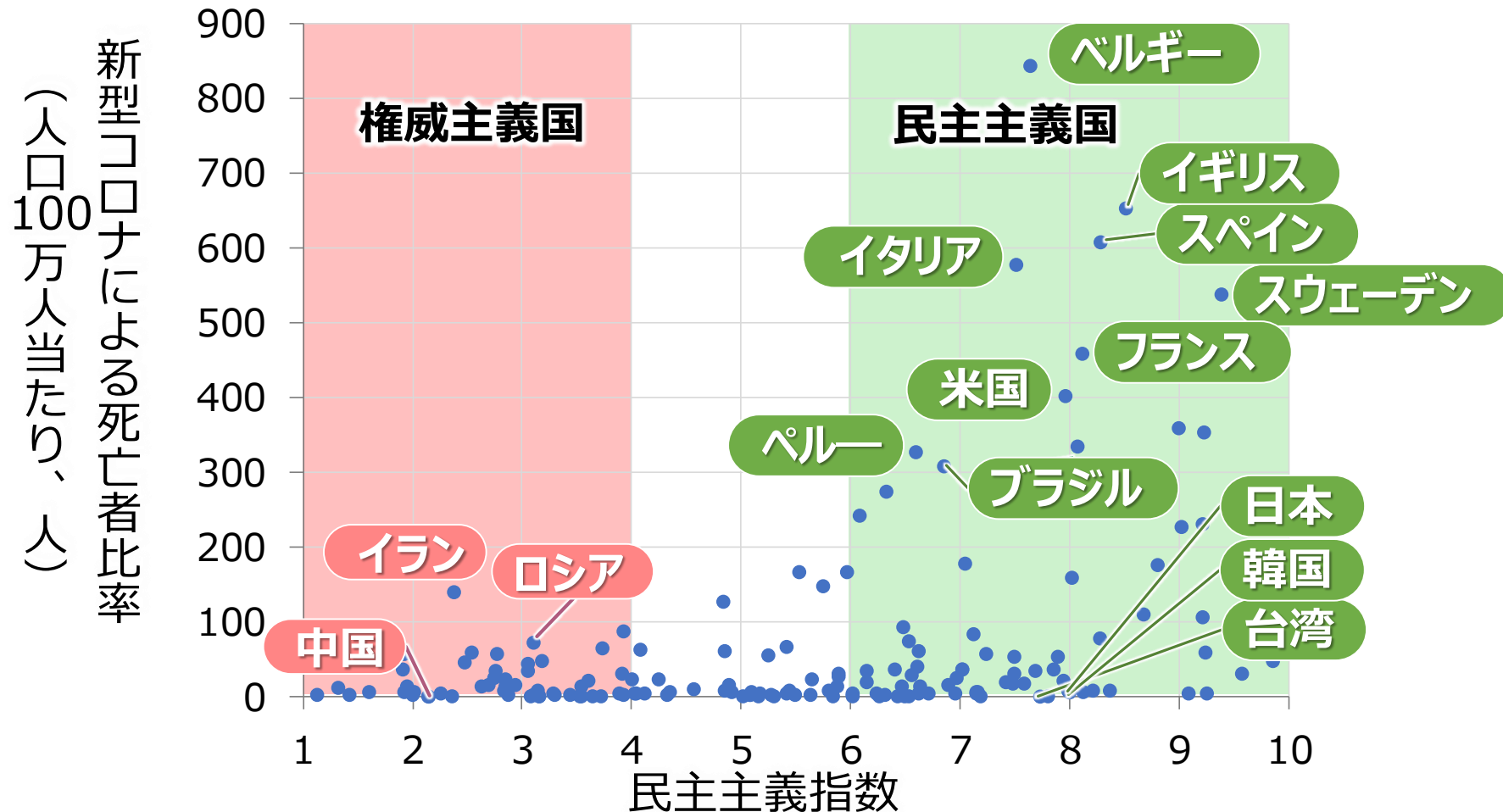
注：アフリカ（北アフリカとサブサハラの合計）は国連および世界銀行のデータがともに取得可能な53カ国。

出所：実績はMaddison Historical Statistics、世界銀行「World Development Indicator」、予測は三菱総合研究所



# 民主主義の揺らぎとルールに基づく国際秩序の重要性

## 国家統治体制と新型コロナウイルス感染症による死亡者比率



注：民主主義指数とは、英エコノミスト・インテリジェンス・ユニットが世界各国の民主主義のレベルを評価した指数。死亡者比率は19年12月末より20年7月7日までの集計による。  
出所：“Democracy Index”EIU, worldometer(July 7)より三菱総合研究所作成

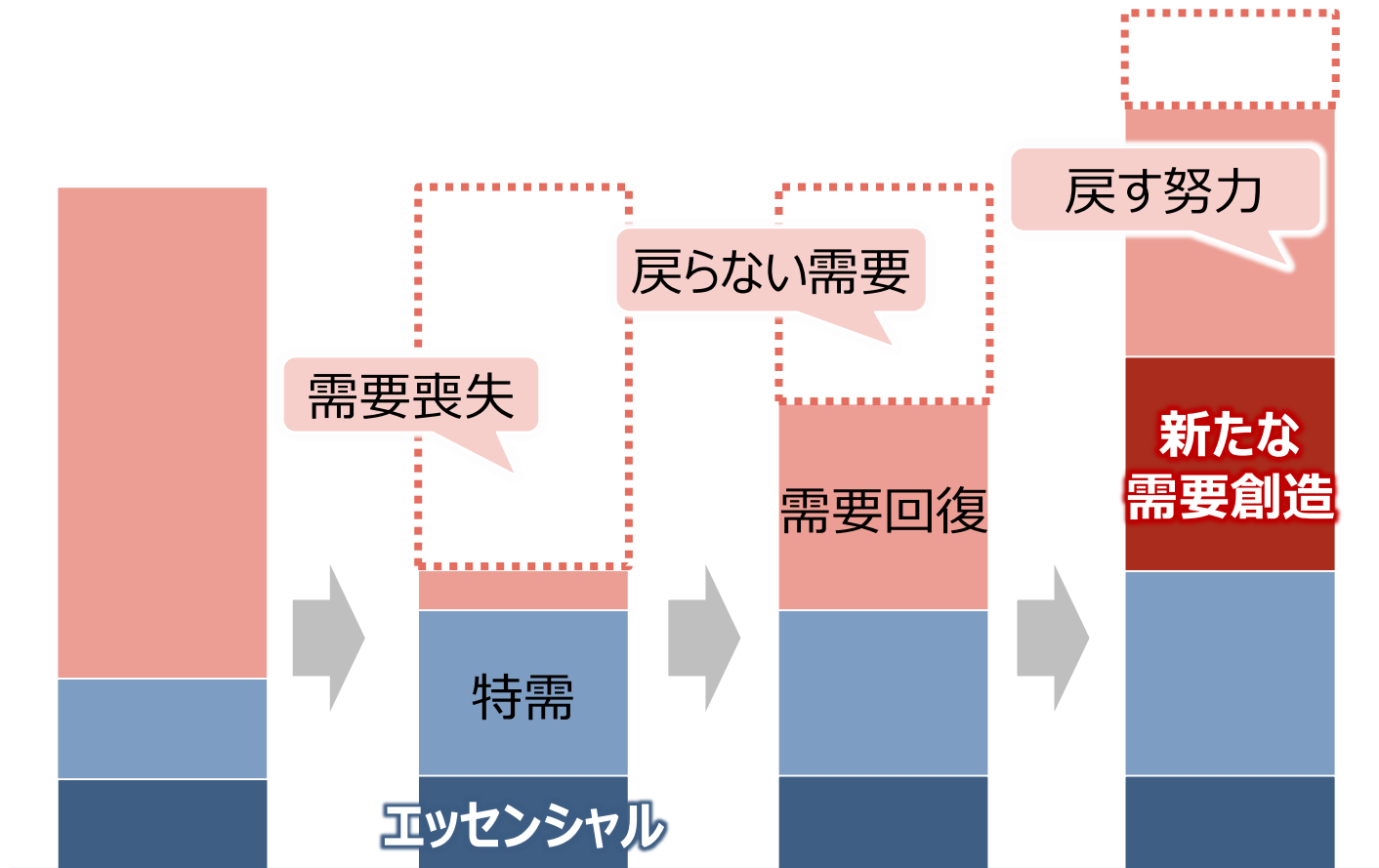
---

## 3. ポストコロナの産業・企業

---

# 求められる新たな需要創造

## 企業の売上回復イメージ



### 新たな需要創造のポイント

リアルの再評価に伴う  
高付加価値化

新たな社会課題に対する  
技術の活用

# 技術活用で新たな社会課題解決を

コロナで生じた  
社会課題

**社会全般**

密集回避／非接触・非対面／医療現場支援／安全確保

**事業全般**

事業の継続性／高付加価値化

VR／AR

**アバター**

表情のモーションキャプチャー

**ハプティクス（触覚技術）**

ロボットに触覚を与えるAI手袋

**複合現実**

MRゴーグルを用いた遠隔医療

ロボティクス

**コミュニケーション**

介護用コミュニケーション  
ロボット

**自動・省人・無人化**

小売店・飲食店用ロボット、  
家事代行ロボット

**遠隔化・非接触化**

トレイグジスタンス\*関連技術

AI

**アナリティクス**

行動履歴分析、  
感染者追跡システム

**業務支援**

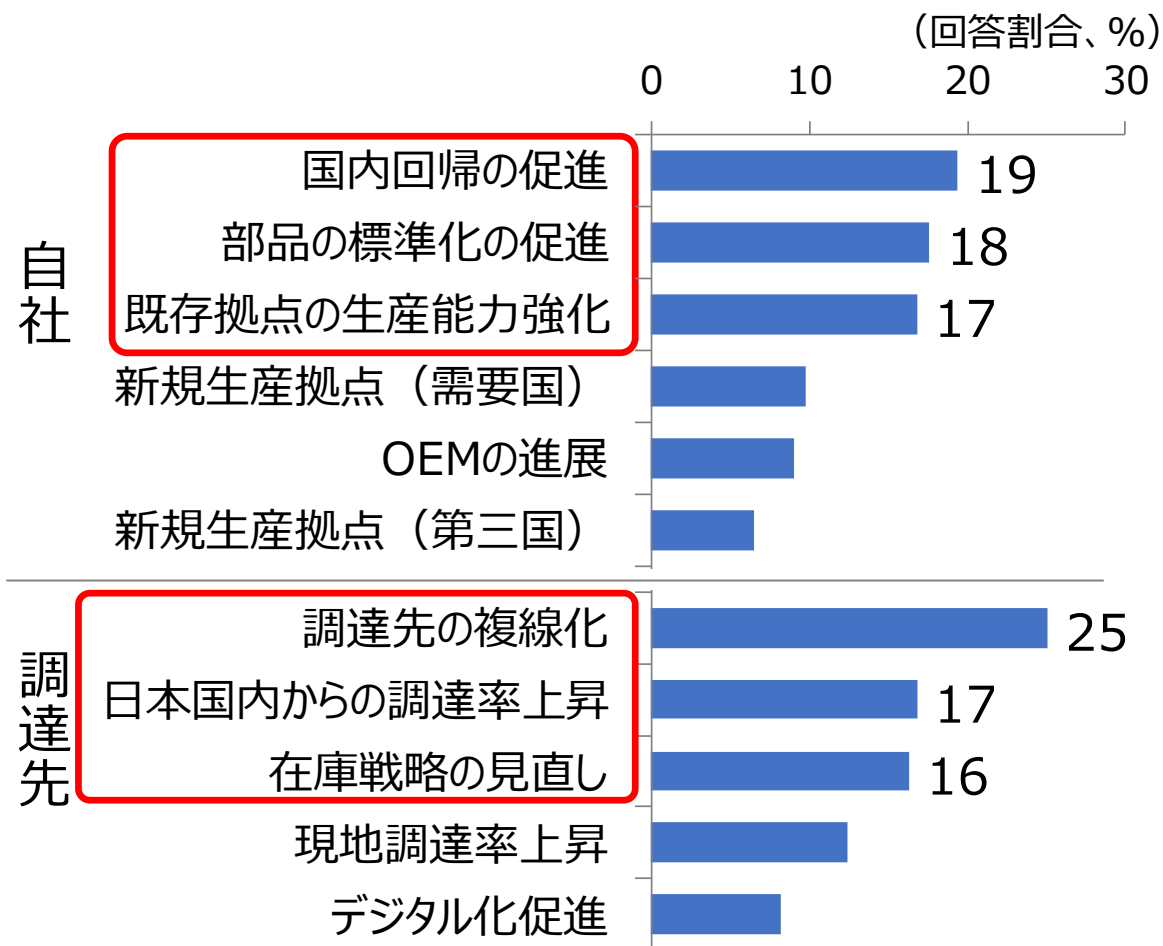
プロセス効率化、従業員の  
パフォーマンス向上、予測AI

**カンバセーションAI**

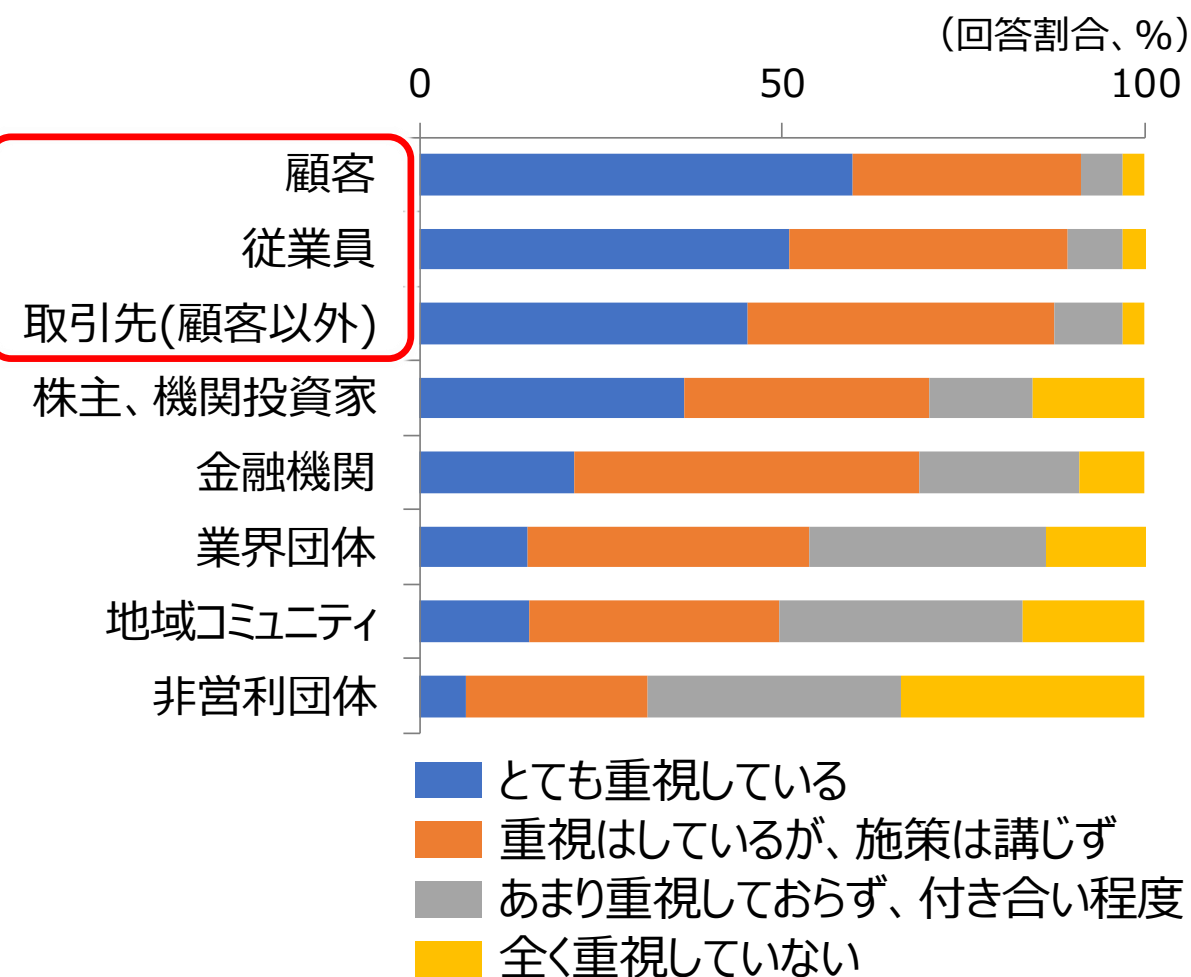
チャットボット・電話応対

## レジリエンスへの意識向上とマルチステークホルダー経営

## 経営者によるサプライチェーン再構築の意向



## 経営者が重視するステークホルダー



出所：三菱総合研究所「企業経営者アンケート」（2020年6月17-19日に実施、N=1,032）

---

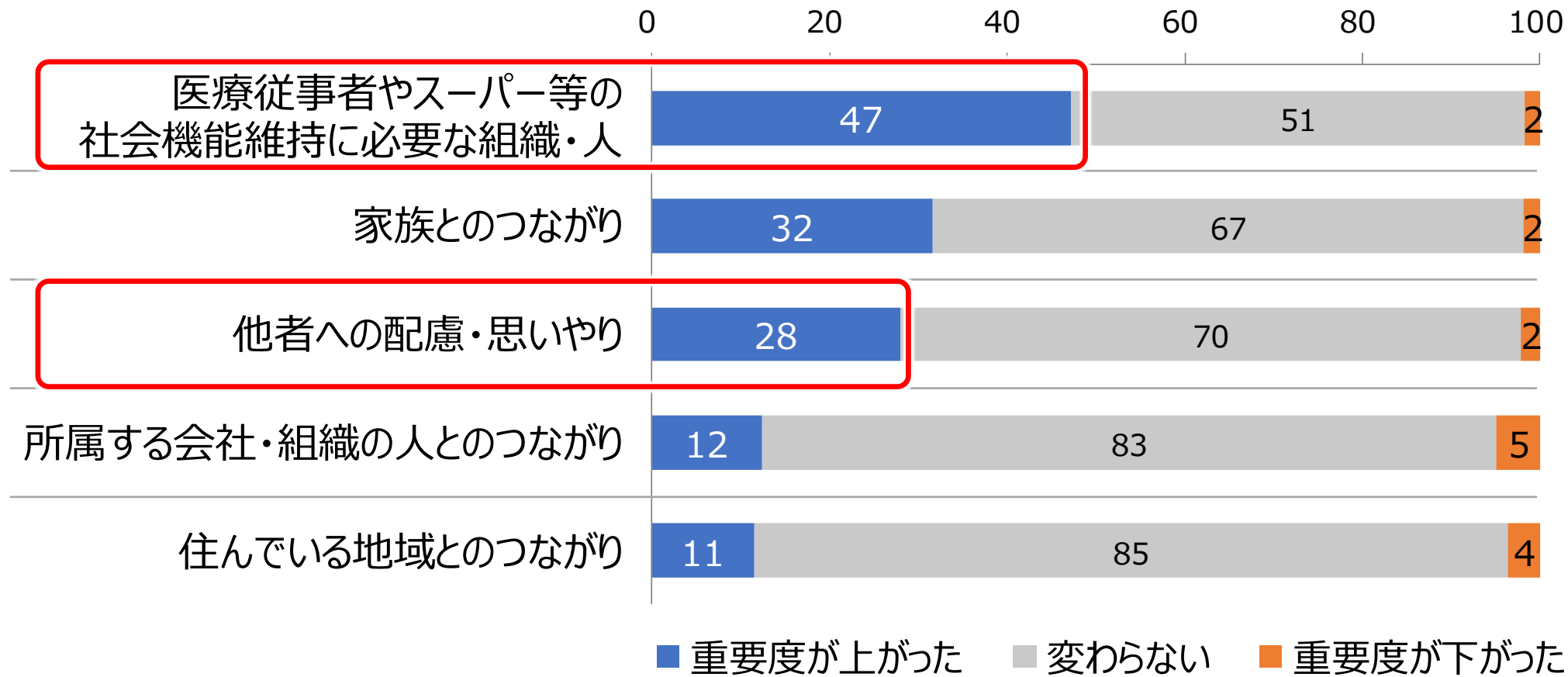
## 4. ポストコロナの社会・個人

---

# 利他的視点に立った協調の重要性

## 「つながりの重要度」に対する生活者の意識変化

(回答割合、%)



出所：三菱総合研究所「生活者市場予測システム（mif）」アンケート調査（2020年6月5-7日に実施、回答者5,000人）

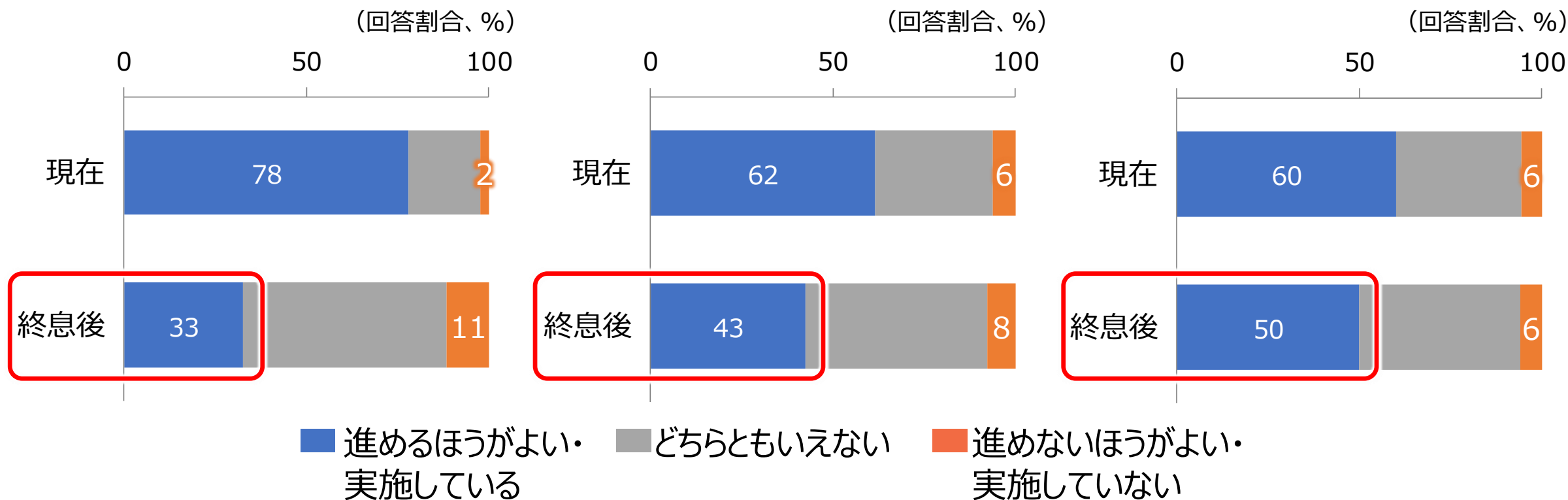
# 生活様式は元に戻るのか

## 生活者の生活様式に対する意識変化

### 社会的距離の確保

### テレワークの利用

### オンライン診療や投薬の利用

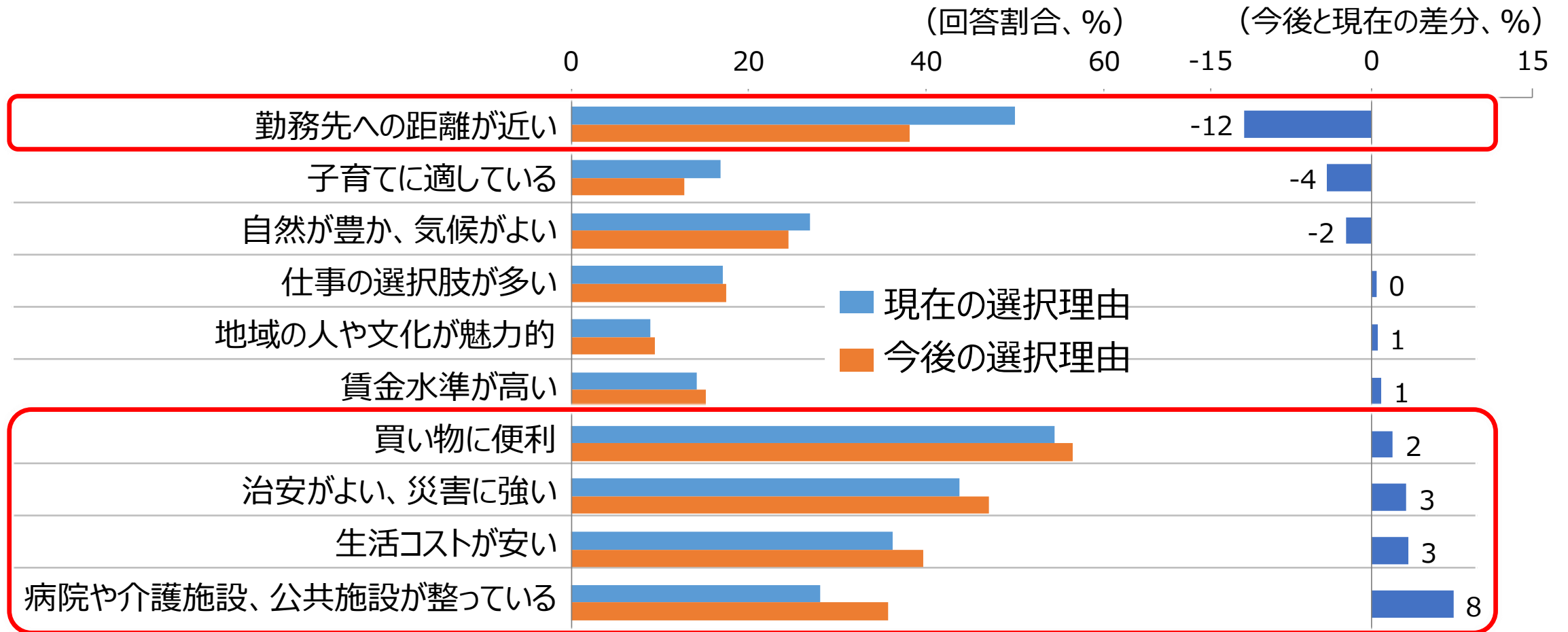


出所：三菱総合研究所「生活者市場予測システム（mif）」アンケート調査（2020年4月22-24日に実施、回答者5,000人）



# 居住地選択理由はどう変わるか

## 居住地の選択理由



注：居住地の選択理由として上位3つまでを回答。

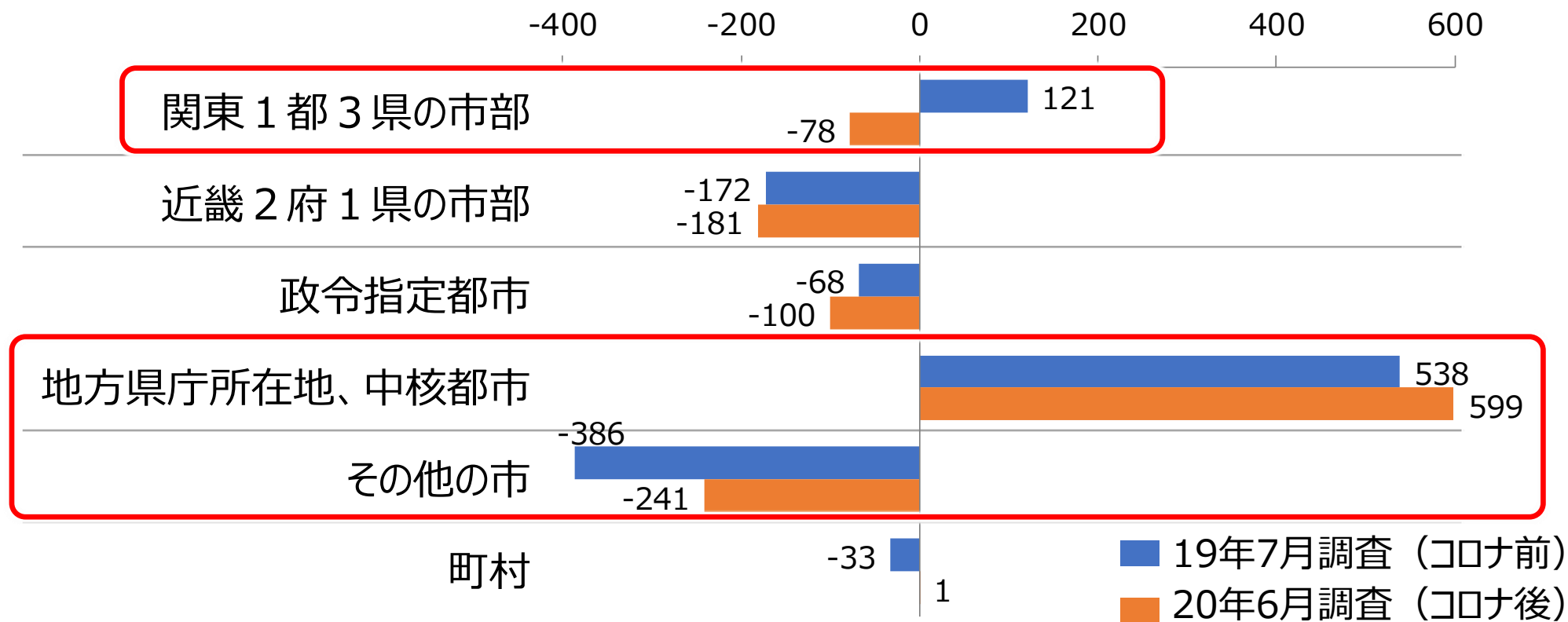
出所：三菱総合研究所「生活者市場予測システム (mif)」アンケート調査 (2020年6月5-7日に実施、回答者5,000人)

# 地方中核都市への関心上昇

## コロナ前後の希望居住地の変化

(2050年の希望居住地と2045年の社人研予測値の差分をコロナ前後で比較)

(万人)

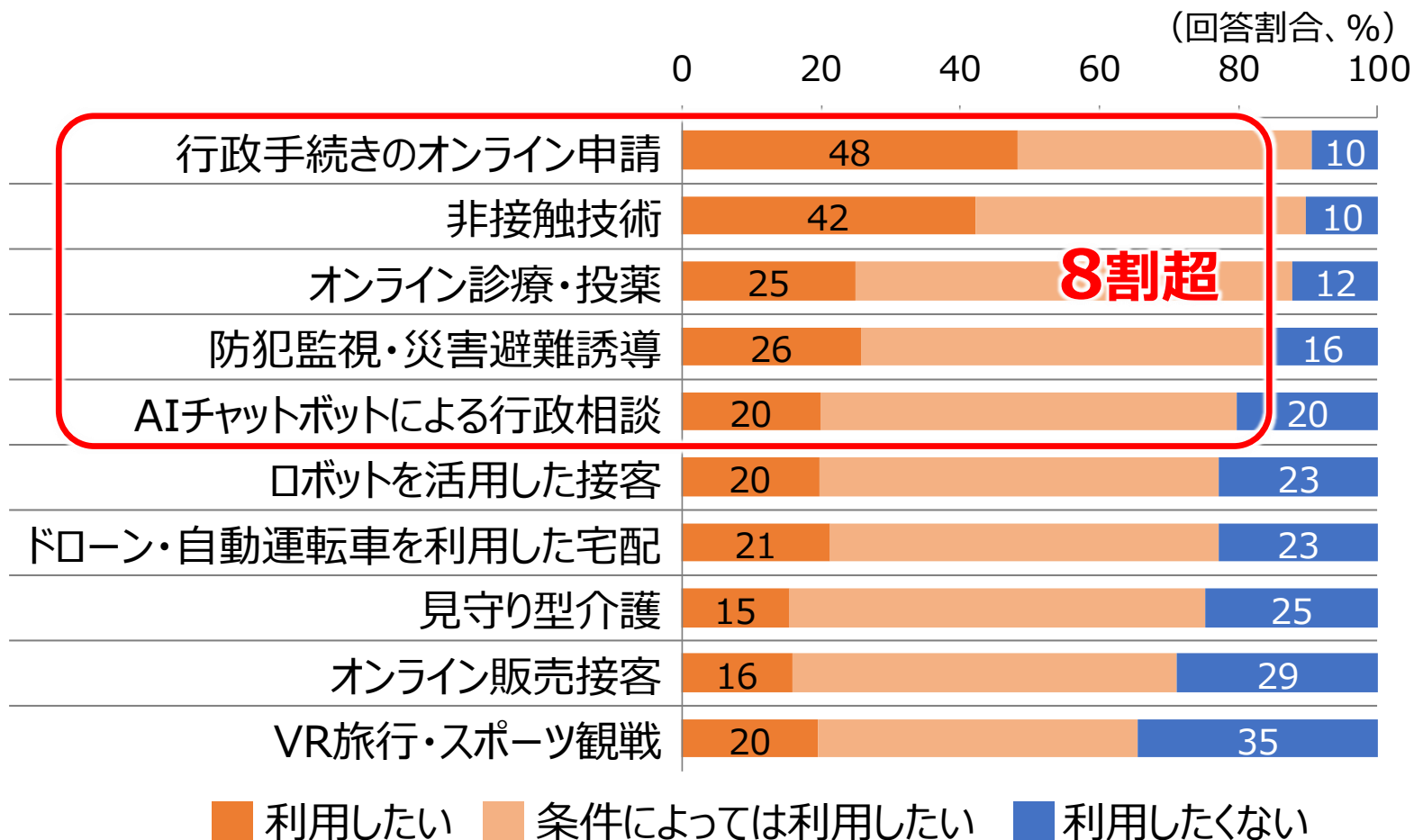


注：mifアンケートによる現在の居住地と未来の希望居住地の回答をもとに地域間移住確率を計算。その確率を国立社会保障人口問題研究所の2045年の人口推計に乗じて試算。今後の希望居住地は、デジタル技術の発達で、居住地に関係なく就労や消費ができる社会を想定とした回答。

出所：三菱総合研究所「生活者市場予測システム (mif)」アンケート調査 (2019年7月26-29日、2020年6月23-25日に実施、回答者5,000人)

## デジタル技術の高い利用意向

## デジタル技術を活用したサービスの生活者の利用意向



## デジタル技術利用の条件

安全性 49%

低価格 34%

簡便性 32%

個人情報管理 27%

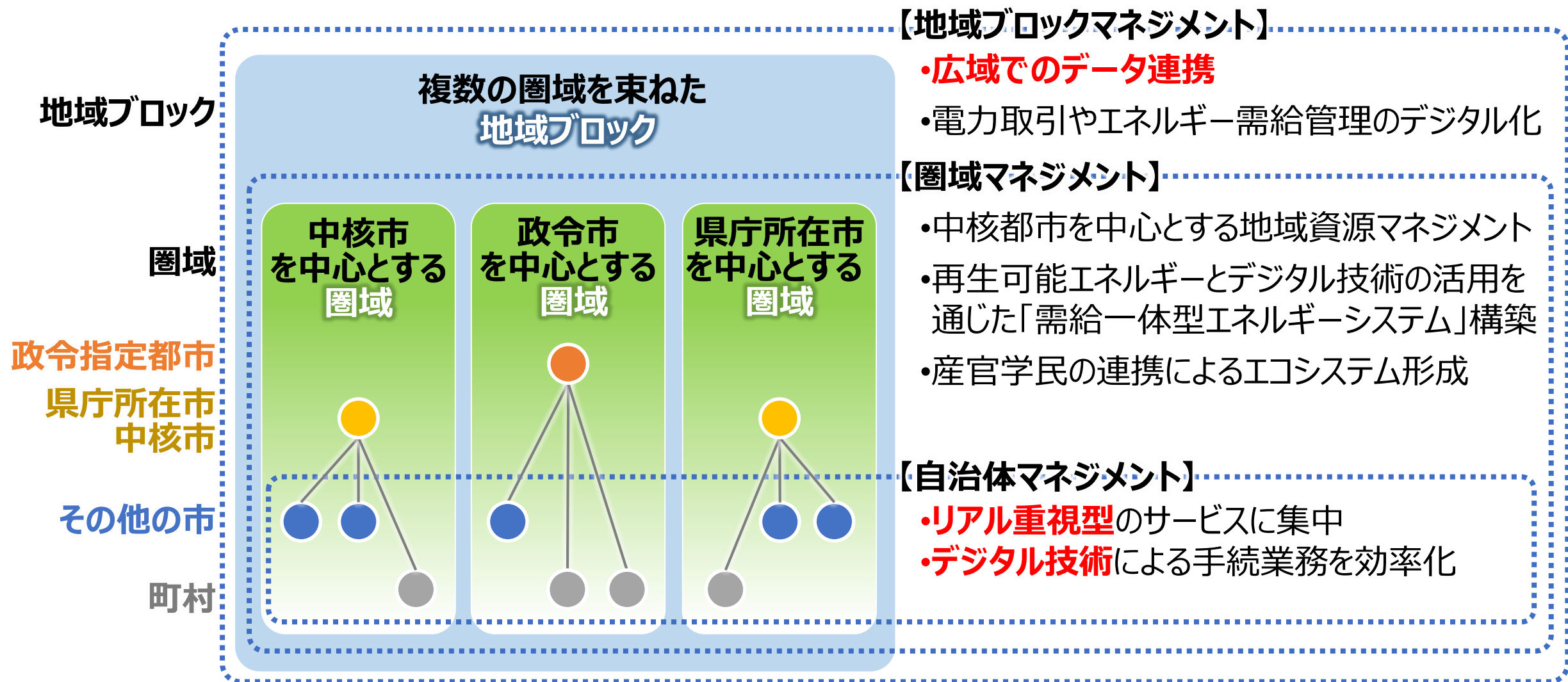
左設問で「条件によっては利用したい」  
とした人のなかでの条件別回答割合  
(複数回答)

安全確保が第一条件

注：「利用したい」「条件によっては利用したい」と回答した割合の合計が多い順に並べている。

出所：三菱総合研究所「生活者市場予測システム (mif)」アンケート調査 (2020年6月23-25日に実施、回答者5,000人)

# 自律分散協調型の地域社会へ



# 終わりに

## ポストコロナの潮流

持続可能性の  
優先順位の上昇

集中から分散・  
多極化へ

デジタルの加速と  
リアルとの融合

### 国際情勢

### 産業・企業

### 社会・個人

自律  
分散

- ルールに基づく国際秩序の再構築

- デジタル×リアルで付加価値創出

- 自律分散による社会の強靱化

協調

- 重層的な国際協調

- マルチステークホルダー経営

- 利他的視点に立った協調

レジリエントで持続可能な社会へ

ご清聴ありがとうございました



株式会社三菱総合研究所

ご参考

2020年7月14日リリース資料

「ポストコロナの世界と日本 –レジリエントで持続可能な社会に向けて–」

<https://www.mri.co.jp/knowledge/insight/ecooutlook/2020/20200714.html>

もご覧ください